

Sonoma システムは、米国 Super Audio Center, LLC 社がソニー株式会社の技術を継承し開発・販売する DSD (ダイレクトストリームデジタル) マルチトラックレコーダーエディターです。Windows XP 上で動作する完全プロ仕様のシステムで、8ch毎に 1 枚のプロセッサカードとエドマイトナー社製 AD・DA コンバータにより構成され、最大のトラック数は 24 チャンネル。ハイエンドのレコーディングスタジオはもとより、マスタリングスタジオや様々な音のデータを保有するコンテンツホルダー・研究機関等にも高音質のアーカイブシステムとしてお使いいただけます。

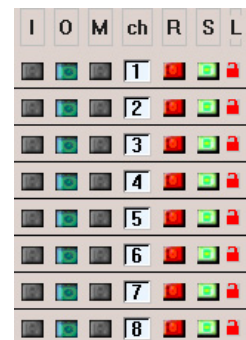
DSD と Sonoma の歴史

- DSD とはスーパーオーディオ CD に採用されている次世代のデジタル録音・再生フォーマットです。従来の PCM とは違い、現行 CD の 64 倍となる 2.8224MHz サンプリングのオリジナル 1 ビットパルス信号を用いているので、限りなく原音に近い音を録音・再生することが可能です。
- Sonoma システムはスーパーオーディオ CD フォーマットの普及のためソニー株式会社が開発したシステムをベースにしています。既に世界中で 3000 タイトルを超えるスーパーオーディオ CD がリリースされていますが、その多くのプロジェクトにおいて使用され、実績を培ってきました。レコーディング・ミックス・編集・マスタリングの各ステージで、音質面だけでなく作業性の面でも重要な役割を果たしてきたのです。

DSD
Direct Stream Digital

レコーダーとしての Sonoma

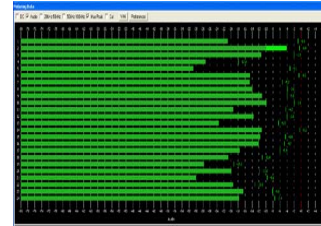
- 全てのチャンネルに、インプット・リプロ・ミュート、録音・セーフモードを用意しています。すでに録音状態であっても、後から個別に録音チャンネルを追加したり、録音モードを解除したりすることができます。またチャンネルを事前にグルーピングしておけば複数のチャンネルの同時操作が可能。モニタースイッチも、オートインプットやマニュアル設定が可能です。更に新しく録音しながら、そのトラックの元の音を再生することもできます。パンチアウトすれば、そのポイントから元々録音されていた音にスムーズに切り替わります。また Sonoma の強力なフェードエンジンにより、前の作業に戻ってチェックをする必要がなくなり、制作スピードを劇的に短縮することができます。



ミックスダウンにおける Sonoma

- Sonoma システムはクロスフェードを含めるとトータル 48 トラックの DSD 信号を再生しながら、同時に 8 トラックの録音をすることが可能です。つまりミックスダウン時の再生側マルチトラックマシンとマスターレコーダーの両方の働きを 1 台で行うことができます。ある EDL を再生しながら同時に別の EDL への録音も可能で、“Punching into the mix” も容易にできますのでオートメーションコンソールがなくても緻密なミックスが可能です。もちろん各種タイムコードフォーマットにも対応していますので、通常のプロジェクトと同様にミックスを進めることもできます。

- Sonoma はステレオとサラウンド両方のスーパーオーディオ CD 用マスター制作においてなくてはならないシステムです。“Export to Master”機能により SA-CD のフォーマット“スカーレットブック”に準拠した DSDIFF フォーマットのマスターを生成することが可能です。このマスターが SA-CD 対応の工場でおーサリグされプレスディスクが完成します。また Sonoma システムでは品質チェックのために、このマスターファイルを再生することも可能です。
- ソニー製メーター用のチップを使用し、“スカーレットブック”に準拠した厳密なメータリングが可能です。DC、オーディオ領域、高域(40kHz-100kHz)、Max Peak を同時または個別に見ることが出来ます。更に、ユーザーがセットした値を越えると自動的にマークをする機能も搭載しているので、あとで検査や編集をすることが容易になります。



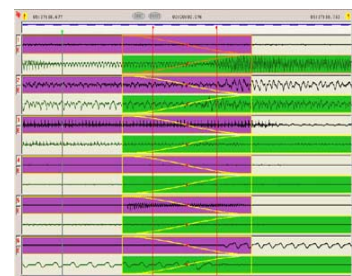
メーターウィンドウ

アーカイブにおける Sonoma

- エドマイトナー社製 AD・DA コンバータによりアナログ信号はもちろん、従来の PCM 信号(44.1/88.2, 48/96kHz)を DSD に変換することも可能なので、高音質なマスター音源を制作できます。またその音源からアナログや PCM に戻すこともできますので、CD-DA や DVD などへの活用が可能です。
- 当社で取り扱うハードウェアや光ディスクメディアとの組み合わせにより、様々な形態のバックアップソリューションを提供。業務用のメディアへ、シングルドライブからオートローダによる自動バックアップも可能です。

Sonoma システムの特徴

- 独立したオプティカルクロックによる高音質伝送
- 全プロセス DSD による高音質録音・編集、レベル調整、位相反転
- リアルタイムクロスフェード(編集点では 48トラックの DSD 信号を再生)
- オーバーダビング、パンチイン・パンチアウト機能
- 各種タイムコード生成と外部シンク対応
- 3ポイント・4ポイント編集とオブジェクトベースの2つの編集機能
- スーパーオーディオ CD 用 Edit Master 生成機能
- 編集ポイントにおけるクロスフェードやレベルの変更
- スーパーオーディオ CD フォーマットに対応した信号のメータリング機能(Annex D&E)
- スタジオメンテナンスエンジニアデザインによるフレキシブルなメーター機能
- 高精細キャリブレーションモード装備
- 8トラックごとの拡張性-Sonoma8、Sonoma16、Sonoma24(各 8,16,24 トラックシステム)



クロスフェードウィンドウ

動作環境

- OS : Windows XP Professional、CPU : Pentium IV 3.0GHz 以上、RAM : 512M 以上
- フルサイズ用 PCI スロットが 8ch ごとに 1 スロット必要(24トラック時は 3 スロット)
- 17インチ以上のモニターと高速グラフィックカード(メーターフル活用の場合デュアルモニターが便利)
- Firewire800 or RAID0 などの高速ハードディスクドライブ

DSD で 24 トラックを 1 時間録音すると約 45G のディスクスペースを使用します。

本システムに関するデモ・見積り・レンタル等のお問い合わせは

株式会社スタート・ラボ HS 営業部 03-3288-4324 または audio@startlab.co.jp まで

URL : <http://startlab.co.jp> もあわせてご覧ください。

スーパーオーディオ CD、SA-CD、DSD とそれらのロゴはソニー株式会社の商標・登録商標です。

Sonoma と Sonoma ロゴ・Super Audio Center のロゴは Super Audio Center, LLC の商標・登録商標です。

Windows XP、Windows XP Professional はマイクロソフト社、Pentium はインテル社の登録商標です。その他の名称は各社の登録商標です。